

まちのわだい



熊本駅構内で氷川町物産展開催

12月18日・19日、熊本駅ビル内のフレスタ熊本において氷川町特産品販売フェアが開催されました。

会場では特産の晩白柚、いちご、トマト、キャベツなどの農産物のほか、梨パイ、もち米ラーメンなどの加工品の試食・販売を行い、2日間で1,000人以上の来客がありました。

また、九州新幹線全線開業に伴い、3月12日には、新幹線熊本駅商業施設内にアンテナショップ「氷川のしずく」がオープンします。ぜひお立ち寄りください！



▲ひかりんがお出迎え



▲たくさんの買い物客で賑わいました

氷川町新春ミニサッカー大会

1月10日、亀北グラウンドで氷川町新春ミニサッカー大会が行われ、9チームの参加がありました。予選から、緊迫した試合が続き、選手たちは寒さを忘れるほどの熱いプレーを繰り広げました。

決勝戦は、南鹿野と東網道によって行われ、後半ロスタイムに追いついた南鹿野がその勢いのままにPK戦を制し、見事優勝を決めました。

○優勝 南鹿野 準優勝 東網道



▲ゴール前での激しい競り合い



▲いよいよ決勝戦！ キックオフ！！

全国大会出場選手紹介

12月24日、役場町長室において、出場選手へ報奨金が手渡されました。出場選手、大会等については以下のとおりです。

第86回天皇杯・第77回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会 1月2日～1月10日：東京都 渋谷区

所属	氏名	地区名	種目
西南女学院大 4年	野尻 絢那	沖 塘	バスケットボール

町民文芸

短歌

- 患いし吾子の治癒力高めんと
醉素つくり打ち励む妻
北野津 宮本 末秋
- 大みそか雪の積もりて外に出れば
椿の花を鳥ゆらすなり
上高塚 桑原ゆき代
- 役場より防災放送その声の
愛しかりせば返事してをり
吉本 高橋 澄子
- 白たすき掛けねばならぬ次走者の
無念伝わる箱根駅伝
吉本 橋村 正之
- 新雪のふりて松葉の緑映え
孫ら声高く春始まりて
南鹿野 尾崎 京子
- 白衣脱げば清しナースもただの人
勤務終し家路と急ぐ
西野津 古崎 栄子
- 元旦に卒寿声をき、つつに
前向努力天命祈る
早尾 橋本ヨシエ
- 子が親にお年五よとうれしかな
八十路の人生ここに幸あり
下高塚 竹中 力

俳句

- あ危ななぞく、車通学路
宮小通り登下校時ピンチ
町 福田 一郎
- 聖水を賜わりし身は倅と
無言の夫の涙ひとすじ
桜ヶ丘 宮崎敬四郎
- プランターに野菜植えてるどんな人
通る度ごと大きくなりて
西野津 古崎スエノ
- 誇らしやわが歌の師安永路子氏
宮中歌会召人となる
東上宮 橋本万寿美
- 干柿や齢かさねて七十二
北野津 宮本 末秋
- お正月無邪気な笑顔アイドル達
上高塚 桑原ゆき代
- 元旦の夜空に映へる宮の楠
吉本 高橋 澄子
- 寿の水引羽子に生まれけり
南鹿野 尾崎 京子
- 雪の舞ふ絵にも書きたし写すたくも
西野津 古崎 栄子
- わざわざと足跡つけに雪の朝
下高塚 竹中 力
- 正月や年令振り捨てて若気取
町 福田 一郎
- 春近し庭に目白の来て遊ぶ
町 香山菊童子

氷川の四季 ズンドコ節

- 心経や座して半畳初明り
桜ヶ丘 宮崎敬四郎
- 水仙や今昔の夢孫に託す
桜ヶ丘 吉田 照子
- 声高む孫の歓声雪だるま
町 田中 澄子
- 孫といて希望ふくらむ初詣
桜ヶ丘 宮崎トシ子
- 雪だるま孫が作って曾孫が笑う
西野津 古崎スエノ
- 氷川の町の 自慢をすれば
春一番に 梅の花
桃に桜に 梨の花
みかん畑にや 恋の花
- 天の恵みの 梅雨最中
餅米植えて イ草刈り
夏の暑さの スイカの旨さ
ブドーウ梨さん 顔を出す
- 火の君祭り 赤トンボ
天下御免の ジャンボ梨
大秋柿さん 色気が付いて
みかん干し柿 恋の味
- 正月飾りに バンペイユ
ハウスの中には イチゴチャンが
真赤に色付き 待ってる孫に
故郷の味 送ろうね
- レストランには 四季それ々に
氷川自慢の 匂の味
爺姥孫子と おとなりさんと
笑顔絆の 道の駅

水戸黄門賛歌

吉本 橋村 正之

人生お金は必要だ
有ると無いでは大違い
泣くのかそれとも笑うのか
そのときお金が物を云う

人生楽有りや若は要らぬ
苦勞は誰でもしたくない
けれども楽だけ有るものか
苦勞をするから楽が有る

人生無理しちやいけないよ
力の及ばぬ事もある
焦らず急がず待つが良い
そのうち海路の日和有る

人生でこぼこ道も在る
つまづき転んで痛くとも
なんとも無いような顔をして
ほこりを払ってまた歩け

人生誰かに恋をする
振られたからとて落ち込むな
向うの好みに合わぬだけ
そのうち合う人現れる

